



第 81 号 2026.6

あまみ市議会だより



すみようこども園



かさりこども園

▲ 3月19日 すみようこども園・かさりこども園落成式

奄美・沖縄 世界自然遺産



第 1 回定例会

令和 8 年 2 月 12 日～ 3 月 26 日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒 894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第 1 回定例会 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2 ～ P7

第 1 回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8 ～ P9

第 1 回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

予算等審査特別委員会の審査概要・・・・・・・・・・・・ P10

活動報告／あとなぎ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11 ～ P12

市政を問う

一般質問とは、議員が、市政全般にわたる施策の状況や方針などについて市の考えを問うものです。3月3日から6日の4日間で17名の議員が市当局に問い質しました。

主な項目について、議員本人が質問と答弁を要約したものをご紹介します。

1日目	2日目	3日目	4日目
1 伊東 隆吉	1 弓削 洋平	1 西 忠男	1 崎田 信正
2 朝木 一仁	2 奥 輝人	2 前田 要	2 瀧 真一郎
3 幸多 拓磨	3 大庭 梨香	3 永田 清裕	3 奥 晃郎
4 正野 卓矢	4 泉 義昭	4 竹山 耕平	
5 与 勝広	5 盛 剛		

録画配信は
こちら⇒
(YouTube)



奄美市議会 録画配信

令和8年度施政方針と 予算編成について



伊東 隆吉
自民党新政会
(産業建設副委員長)

令和8年度施政方針と
予算編成について

問 おがみ山公園の展望台整備計画について

答 自然環境との調和に十分配慮し、景観に馴染む色合いの再生木材を使用。展望部の高さは地面から2メートル程度を想定し、名瀬の中心市街地を一望できる構造となるよう検討中。

問 健康体験交流施設(タラソ)の観光施設案は

答 本年7月頃自途にアドバイザリー業務協議を基に民間提案制度による公募を求め、選定業者との協議等を経て、令和8年度中の契約締結に向け進めていく計画。

問 国道58号住用地区道路拡張について

答 城集落の海側の石垣と防風林の機能補償について、集落との調整が必要なものも複数あり、課題解決に取り組んでいる。早期事業化に向け県と連携し課題の解決に努める。
【その他の質問事項】
◎「共同キャンパス」について

市政の現状と今後について



朝木 一仁
チャレンジ奄美
(文教厚生委員)

問 地方交付税について

答 令和7年12月追加交付に伴う普通交付税決定額は129億447万5000円、基準財政需要額は175億8815万3000円。需要額の主な内訳は公債費(34億8013万2000円)、教育費(11億3375万1000円)等である。教育費の内訳は児童生徒・学級・学校数を基に小学校費5億2053万6000円、中学校費2億7922万8000円、社会教育施設等に要する経費で3億3398万7000円。公債費の算定基礎となる元利償還金は年々増加し、令和2年度の25億128万6000円から令和7年度は36億962万6000円となっている。

問 文化財保護について

答 住用地区の文化財は

水書等で住用公民館から移動させており、現時点で6か所に所在している。いずれも歴史・文化的に必要不可欠な資料で、今後は所在や点数を詳細に把握し、価値ある地域財産として環境整備を進める。奄美博物館の一括管理が理想だが、収蔵スペースの限界や地域への教育的効果から「現地での展示」も重視し、適切な管理体制を協議する。またデジタルアーカイブ事業を通じ、新年度は民俗・歴史資料の公開に着手する。これを機に郷土教育の推進や新たな観光資源創出へ繋げる。

問 公共施設について

答 名瀬運動公園屋外50mプールは老朽化が著しく、一般開放は難しい。市内で3か所の温水プールが稼働していることから、公園全体の整備計画や市全体の公共施設改修計画の中で費用対効果を検討し、優先順位をつけながら計画的かつ効率的な対応を進めていく。

部活動・クラブチームの遠征について



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生委員長)

問 一人当たりの遠征の年間費用は

答 鹿児島県からの依頼に基づく大規模校の調査結果によると、中学校の生徒一人当たり年間経費は、おおむね3万円程度から、遠征回数が多い部活動では11万程度となっている。これらには宿泊費・交通費・食費等が含まれている。引率する指導者の旅費については、部活動の場合は引率者が学校職員であり、県費負担。外部コーチが帯同する場合の経費については原則として保護者負担となっている。

問 遠征に行く事のできないご家庭に対する対応は

答 部活動・地域クラブを設置している9校中5校において経済的理由により遠征参加を断念した事例があった。経済的事情で部活動への加入を断念

遠征について

した具体的な事例についても1件把握している。子どもたちの参加機会を確保するための支援制度については、遠征の頻度や活動内容が所属する家庭の過重負担にならないよう配慮する事が重要と考えている。

問 本土の学校・チームとの交流を島内開催できる仕組みを検討できないか

答 本市の部活動・クラブチーム活動において、島外遠征が占める割合が8割以上が1校、4割から6割程度が2校、2割から4割が1校、2割未満が5校となっている。議員指摘のように島内で開催する事ができれば、生徒や保護者の経済的負担の軽減につながるものと認識している。複数校合同による大会や交流試合の島内実施を促進していくことなど、主催団体と連携を図り、可能な範囲で島内開催の機会拡充について情報共有等に努める。

災害時における情報発信の在り方について



正野 卓矢
チャレンジ奄美
(産業建設委員)

問 基本的な考え方は

答 奄美市では、奄美豪雨災害で得た教訓を踏まえ、ハード・ソフト両面から防災力の強化に取り組んでいる。市内全域を確実にカバーするため、防災行政無線のデジタル化を主軸としつつ、戸別受信機の設置や防災ラジオの配布、孤立の恐れがある集落への衛星電話の配置等を進めている。また、各種SNS、Jアラートやエリアメールによる緊急警戒放送、さらにはあまみエフエム放送など、多様な手段を組み合わせて、市民へ確実に情報を届ける体制を構築している。

問 あまみエフエムを主軸とした災害情報発信体制構築の可能性について

答 奄美市はあまみエフエムと「災害時の放送に関する協定」を締結している。台風時の災害放送や

市長の政治姿勢について



与 勝広
公明党
(文教厚生副委員長)

問 2026年度当初予算における最重要政策は何か

答 1点目は市民生活の安定と経済活性化である。物価高の影響を受ける市民や事業者への支援として、国の経済対策も活用して様々な物価高騰緊急対策事業を展開すること、市民生活の安定と経済活性化に取り組み。

2点目は子育て支援である。新年度から国の補助金を活用し小学校及び中学校給食費の無償化を実施するほか、地域特性を踏まえた住用地区独自の子育て支援を設けるなど、積極的に新たな取組を進めていく。

3点目は世界自然遺産登録5周年である。令和8年7月で世界自然遺産登録から5年を迎える。新年度は5周年を祝うこと

もに、奄美の魅力を外に発信していく。

問 第3次財政計画の進捗状況について

答 令和7年度実施計画を基に、令和8年度から令和17年度までの10年間を期間とする新たな計画を現在策定中。令和7年度中の策定を目指し現在作業を行っており、策定後は奄美市ホームページ等において公表を予定している。

問 田中一村没後50年事業について

答 没後50年事業については、田中一村記念美術館を設置している奄美パークをはじめ、長きにわたる田中一村の顕彰活動を続けておられる民間団体の皆様とも事業の検討を行い、官民連携による取組を展開する。さらに田中一村の文化的価値を高め、関係団体等と連携しながら着実に進めて参りたい。

住居版地域創生戦略について



弓削 洋平
チャレンジ奄美
(総務企画委員)

問 休耕地の活用における他町村事例について

答 瀬戸内町が実施している荒廃農地開拓事業は、町が農業をしている方からの申請により、1平方メートル当たり50円の負担金を徴収して荒廃農地の再整備を行う内容。荒廃した休耕地の再整備のため参考にするが、土地の所有者の特定が前提となる。農地バンクの活用促進を優先的に進めていく。

問 子育て世代の定住促進について

答 住居地区独自の施策として、本地区に居住する保護者に対し、おむつ代助成事業と保育料助成事業を実施する。令和8年度からの実施に向け取組中。

問 小水力発電事業導入検討について

答 先進地の佐賀県吉

野ヶ里町松隈集落を視察した。集落単位で法人を設立し、小水力発電事業を運営しており、事業実施に至るまでの地域における合意形成の手法や、地域と行政の役目・役割の在り方、現在までの事業実績と地域への還元施策等をヒアリングした。現在、当時よりも建設コストが大幅に増加しており、事業採算性が取れるかどうかが懸念される状況ということも確認した。その在り方を含め、協議・検討していく。

問 高校生遠距離通学費補助金の無償化について

答 保護者負担の軽減につながる一方、現行の基準と対象者を前提とした場合、年間で概ね3000万円規模の恒久的な財源確保が必要と試算している。通学費無償化のみに限らず、子育て支援全体や教育環境整備など他の施策との優先順位を踏まえ、総合的に検討する必要がある。

アミノノクロウサギの対応と生産牛の振興



奥 輝人
無所属
(文教厚生委員)

問 特別天然記念物アミノノクロウサギの実態は

答 奄美大島における個体数は、令和4年度推定で1万24頭から3万4427頭、その中央値は1万9558頭である。近年は増加傾向にあり、タンカンやサトウキビ（徳之島）への被害が深刻化している。対策として、樹園地において侵入防止対策を強化し、被害軽減を図っている。

問 保護が被害対策か

答 生息数の回復に伴い、保護と産業活動との両立を目指し取り組んでいく。共生可能な社会環境づくりを地域として進めていくことが重要。

問 奄美大島家畜市場内

において、子牛の血統と繁殖めす牛の血統で、種雄牛と2代祖の血統の組み合わせで価格の高い順は

生産牛の振興

答 ①正忠平と紀多福②梅華福と安福久③百合日本来と美国桜④安亀忠と安福久⑤紀多福と関平照

問 母牛の登録点数による子牛の頭数と平均価格と頭数の割合について

出荷頭数	平均価格 (税抜き)	頭数の割合
83点以上	642,241円	17%
82点以上 83点未満	655,435円	36%
81点以上 82点未満	669,870円	27%
80点以上 81点未満	659,080円	15%
80点未満	674,333円	5%

問 子牛のDGについて

答 子牛のDGの平均値は、去勢牛が1.11kg、めす牛は1.01kgで全国平均を上回っており、健全な飼育管理の成果が表れている。



※去勢牛とめす牛を計算した数値
【DG…1日当たりの平均増体重。数値が高ければ成長が早いことを表す。】

各種がん検診の受診率。早世率について



大庭 梨香
公明党
(総務企画副委員長)

問 各種がん検診の受診率について

答 本市の受診率は県平均より高いが国の目標値(60%)には達しておらず特に40代・50代の受診率が低い。令和8年度から3年間、大腸がんの検査費用無償化を実施する。知識の普及と早期発見・治療に繋げたい。

問 早世率の現状と対策

答 男性の早世率は国・県の約1.5倍、奄美大島5市町村の中で最も高い。要因はがん(特に大腸、肺、肝臓)、心疾患、自殺など。対策として循環器疾患やがん検診の受診勧奨、治療中断者への働きかけ、ゲートキーパー養成講座などの自殺対策を重点的に行う。

問 住居地区の学校再編

に関するアンケート結果や今後の統合スケジュール等について

答 アンケートに回答した保護者の8割が小中ともに統合に賛成。教育環境の質の向上を求めている。令和8年度に住居地区学校統合準備委員会を設立し、具体的な協議を進める。施設整備は老朽化対策や防災機能を備えた設備を検討し、緊急性の高いものから対応する。

問 不登校の現状と要因

答 令和8年1月末現在、不登校児童生徒は91名(小学校40名、中学校51名)で家庭状況や友人関係が主な要因。三側面生物的・心理的・社会的要因からアセスメントを行う研修の実施やガイドライン策定により、一部の生徒が登校できるなどの成果が出ている。

問 住居地区の学校再編

に関するアンケート結果や今後の統合スケジュール等について

SSRについては、令和8年度、朝日中学校へ教育相談員を配置し、モデルケースとする。

奄美家畜市場の 公道道路整備について



泉 義昭
無所属
(産業建設委員長)

問 笠利地区の奄美市肉用牛団地周辺では市有地に農協の施設が、農協の所有地に市の施設が建設され、平成16年度に賃貸借契約を締結しているが土地交換の進捗状況は

答 来年度から具体的にあまみ農協と協議を進めていく。

問 市道赤木名・笠利線の整備が長期になつている要因は

答 ①急カーブや狭小幅員を解消するため山の切土工事や法面対策など施工条件が厳しい区間を含む。②交通への影響を抑えるため段階的な施工が必要。③土質が悪く鉄筋を挿入し山留を行う特殊な工事が必要となり多額の事業費を要するため計画的に事業量を配分し進めてきた。

完成年度を断定することは難しく工事の進捗等を

踏まえ令和10年度に事業計画の見直しを行う。

問 未広・港土地地区画整理事業進捗状況について

答 平成18年度より事業に着手し平成22年度に仮換地指定を開始、順次家屋移転が実施された。令和9年度までに全ての家屋移転を終了し、換地処分着手を考えている。現時点で135棟中134棟の合意、同意率は99.3%となっている。

問 75歳以上のご長寿応援券の利用拡大について

答 応援券は75歳以上の高齢者の外出支援のため、交通機関や健康増進につながる施設で利用でき、高齢者の補聴器費用補助や粗大ゴミの処理補助は、現時点では本制度に合致しない。利用実態を分析しより多くの方に券を活用してもらえよう努める。

【その他の質問事項】

◎「大島奉行所跡」「辺留城古墓」について

奄美市道路政策全般について



盛 剛
無所属
(総務企画委員)

問 奄美市街地と平松団地のトンネル開通の必要性について、夕方、朝仁隧道から長浜にかけて渋滞が常態化している。過去にこの問題を取り上げた議員は何名か、当該区間の事故発生件数、朝仁以南の奄美市行政区域の総人口は何名か伺う

答 過去質疑した議員は9名。当該区間における過去10年間の人身・物損事故は合計149件。人口は各年1月末日現在で、令和4年64444人、5年63266人、6年62477人、7年61665人、8年61177人。

問 医療訪問介護等の効率化に資すると考えるが見解は

答 福祉医療サービス等の提供、災害時における避難行動等、極めて有効と認識している。

問 大和村の交通道路政

策と整交口連携すべきと考えるが見解は

答 本路線の整備に係る要望等は本市単独で行っており、大和村との協議は今後の検討課題とさせていたきたい。

問 次期奄振法入要望すべきと考えるが如何に

答 (仮称)三儀山バイパス整備の事業主体は県である。県に対して早期整備の要望を継続していく。

問 防衛省予算で国道の部分的な拡幅工事は出来ないか伺う

答 今後の状況を注視し関係機関と協議していく。

問 自衛隊の力で加計呂麻架橋構想について伺う

答 本構想については防衛省及び地元瀬戸内町の意見が最も重要であると考えられる。瀬戸内町からいただいた資料によると工事費が割高で費用便益の評価が小さく、事業の妥当性を見出すことが難しいとの調査結果から、平成12年度で陳情活動を取りやめているとのことである。

血液供給体制について



西 忠男
参政党
(産業建設委員)

問 血液供給体制の現在の進捗状況について

答 ATR(搬送専用小型冷蔵庫)は、昨年の9月から県立大島病院にて運用が開始されているが、現在のところ実施の実績はないとのこと。また現状のATRでは、大量の出血時に必要となる血しょう製剤は取り扱っていない。

昨年10月に日本赤十字社長と意見交換を行った際には使用期限の切れた血液の廃棄問題に触れ、離島において緊急時以外でも医療機関の間で輸血用血液製剤を融通して取り扱えるようにしてほしいとお願ひしており、日本赤十字社としても何らかの形で安定供給に向けて工夫していきたいと述べられている。引き続き県や関係機関と情報共有を図っていく。

問 蘭館山・くれないの塔周辺を文化財指定できないか

答 蘭館山は、幕末期に薩摩藩が整備した白糖工場を手がけたイギリス人技師らの宿舎があった場所として知られている。また、くれないの塔は自衛隊哨戒機の墜落事故で亡くなられた方々を慰霊する施設であり、その周辺には戦時中痕跡を残す防空壕も現存している。さらに、周辺地域には「金久白糖工場跡」や江戸時代役所の「仮屋跡」も位置している。蘭館山及び周辺の遺構は市民と共に後世に継承すべき貴重な財産であるため、これらを教育・観光資源として有効に活用できるように努める。

【その他の質問事項】

◎蘭館山にある殉職された警察官の慰霊碑建立の経緯について

◎奄美空港へのチャーター便の運航状況について

名瀬崎原地区近辺 産業廃棄物処分場について



前田 要
無所属
(産業建設委員)

問 1999年に鹿児島県が許可した崎原地区における産業廃棄物の安定型埋立処分場の建設計画が再浮上していると聞いているが奄美市の見解は

答 新たな処分場建設計画については、設置許可を受けている事業者から本市にも話があり承知している。1999年の設置許可は現在も効力を有しているが、設置許可から27年を経過しており、その間に法律等の改正があったものについて、県から事業者に対して手続きのやり直し等を求めていると伺っている。本市に本案件の許認可権限はないが、以前の住民反対運動のこともあるため、「住民の方々の理解が最も重要であり、住民への理解が得られるよう説明や法律を遵守しながら対応に努めていただきたい」と言

伝えている。

問 笠利地区の休園、休所中の保育施設の活用予定は

答 旧喜瀬へき地保育所は、一般社団法人から「お試し移住可能なシェアハウス」「地産地消の食堂」等の提案があり採択済。旧屋仁へき地保育所は事業者と相談中。旧赤木名保育所佐仁分園・旧宇宿保育所須野分園は、施設の老朽化もあり活用が進んでいない。

【その他の質問事項】

- ◎奄美市歴史民俗資料館の宇宿保育所移行について
- ◎赤木名校区「カラス」小屋新設について
- ◎笠利地区二十歳のつどいと校区対抗なご大会の同時開催の可能性について
- ◎名瀬小学校歩道橋について

市長の政治姿勢と 観光振興について



永田 清裕
自民党新国会
(総務企画委員)

問 観光需要喚起特別対策支援事業の事業内容と期待される経済効果は

答 観光需要は回復基調だと認識している。一方で物価高騰や人件費の上昇、燃油価格の高止まりなどの影響により、観光関連事業者の経営環境は依然として厳しい状況が続いていると認識している。近年はホテル建設の動きも活発化しており、観光産業を取り巻く環境は大きく変化している。こうした観光需要の回復傾向と環境の変化を踏まえ、財政調整基金からソフト事業に1億円を投じ、宿泊料の50%割引(上限5000円)を実施する。宿泊業者のみならず、飲食店・交通事業者など市内全体への幅広い経済波及効果を創出する。

問 市長の政治理念とマニフェストにかける思いは

答 「政治は弱者を助けるためにある」を理念として掲げている。物価高騰など新たな課題に対応し、「しあわせの島」を本気で実現するため、1期目を大きく上回る123項目の公約を掲げ、着実な実行を誓う。

問 公約実現に向けた組織体制と職員の適正化について

答 デジタル活用や業務改善で効率化を図りつつ、適材適所の配置を徹底する。政策を進める原動力は「人」である。職員一人ひとりが多様化する課題に真正面から向き合い、主体的に挑戦できる組織を構築する。

問 令和8年度に注力する施策は何か

答 ①物価高対策と経済活性化②小学校給食費の無償化に加え市独自に中学校も無償化③世界自然遺産登録5周年を契機とした発信・交流強化など

【その他の質問事項】

- ◎奄美・沖縄交流事業

防犯及び見守りカメラ設置への 支援策を望む



竹山 耕平
自民党新国会
(文教厚生委員)

問 防犯及び見守りカメラ設置の必要性と官民連携を助長する支援策を望む

答 近年特に全国各地で凶悪事件が多発し、奄美大島内でも傷害や窃盗等の刑法犯認知件数が増えている。屋仁川でのトラブルを懸念し、社交飲食業組合や市民の投書箱において、設置に関する意見をいただいている。財源や設置の基準、維持管理、プライバシー保護など課題もある。官民連携の視点を踏まえ設置基準や運用ガイドラインの検討を進める。令和8年度には新たに制度設計にも取り組んでいく。

問 副市長は株名瀬建設工事残土管理公社など外部団体でも要職についている。各団体の事業形態や運営形態から役員体制のあり方をつかがう

答 管理公社の代表取締役や奄美市社会福祉事業団の理事長、またそれ以外にも10の外郭団体で役職を担っている。役員体制については健全性や公平性が保たれるよう配慮したほか、現状把握したうえで適宜見直しを図ってきた。今後関係者との連携強化を図り公平な立場で職務を全うする。

問 子どもの居場所づくりとしてフリースクールとの連携協力体制及び支援策の制度充実について

答 フリースクールは子どもにとって大切な居場所の一つと認識している。学校・家庭との連携に加え、市教委・フリースクール・学校を含め情報共有を図り、子どもたちの支援の方向性を確認しながら対応している。子どもの心情に十分配慮し丁寧な支援を進めていく。また、フリースクールへの運営等に係る支援については、福祉部局とも連携し子どもの居場所が継続して確保されるよう検討する。

社会保障制度に関する

当局の見解は



嶋田 信正
日本共産党
文教厚生委員

問 2月8日に執行された総選挙の結果によって社会保障制度全般に国民の負担増が加速する動きに、市民のくらしを守る当局の見解は

答 国の制度改正の動向を的確に把握することも、限られた財源を効果的に活用し、物価高騰対策や子育て支援、高齢者支援など市独自の取組を進めるとともに、必要に応じて国に対して制度改正の要望を行なうなど、市民生活の安定に取り組んでいきたい。

問 OTC類似薬の薬剤負担引き上げについての見解と生活保護制度に関する影響は

答 対象となる薬剤費の25%を追加的に負担する仕組みが導入されると、将来的な見直しの在り方によつては、患者負担のさらなる増加につながる

可能性があるため、国においては、制度の趣旨や必要性、国民生活への影響など、慎重な議論と丁寧な説明が求められる。

生活保護の医療扶助は保険適用が対象となり、OTC類似薬が保険適用外となる場合は医療扶助の適用に該当せず自己負担となる可能性も想定される。現時点では国より制度設計の具体案は示されていない。

問 障害者の方などの医療費窓口無料化自治体へのペナルティーは

答 「重度心身障害者等医療費助成」及び「ひとり親家庭等医療費助成」は、現物給付方式（窓口負担ゼロ）を採用した場合においては、減額調整措置の対象となる。

問 後期高齢者医療保険料の動向は

答 前回改定時と比べ平均割額は99000円の増となっている。

問 「未来づくり総合戦略2025」の進捗状況と実績値の公表時期は

答 観光消費額や企業におけるデジタル化等のKPI達成に向け施策を執行中。令和7年度の実績値は、令和8年10月開

奄美市総合戦略の進捗と

特定居住計画の策定



瀧 真一郎
無所属
総務企画委員

問 関係人口増に向けた「特定居住促進計画」の策定と最上位計画への反映は

答 関係人口・交流人口に関する指標の最上位計画への即時反映は慎重な検討を要するが、次期戦略等への追加は検討の余地がある。特定居住促進計画策定については、民間有識者を含む委員会を設置し、国のモデル事業等の知見を活かしながら令和8年度中の策定に向けスピード感を持って取り組む。国の制度を注視し、将来的な定住人口増に繋げる。

問 「未来づくり総合戦略2025」の進捗状況と実績値の公表時期は

答 観光消費額や企業におけるデジタル化等のKPI達成に向け施策を執行中。令和7年度の実績値は、令和8年10月開

催予定の奄美市総合戦略推進会議で確認後、市ホームページで公表する。実施中の事業については現時点で具体的な数値を示すのは困難だが、毎年度の見直しを行い柔軟に対応する。

問 笠利・住用両地区の地域創生戦略の進捗と課題は

答 笠利（進捗38.6%）は空き家解消や水産振興等、住用（27.5%）は認定こども園整備や防災訓練等に注力している。空き家バンクの登録促進や、専門人材を扱う人材の育成、情報の横断的な共有が今後の共通課題である。

問 奄美まつり（舟ぎ競争）の改善について

答 熱中症リスク増加を考慮し、令和7年度は競技時間の短縮等の対策を講じた。アンケート結果に基づき、令和8年度は競技方式の見直しや会場周辺の環境整備等について総合的に検討する。

問 モノやサービスの付加価値化によるかせぐ地域づくりについて

答 観光・物産・情報を柱にモノやサービスの高付加価値化を図り、かせぐ力を高めていくことは、本市の経済・産業の発展に重要と認識している。まず、観光分野において世界自然遺産登録を活かしたエコツーリズムの推進や国の事業を活用した民間宿泊施設のリニューアル支援により、高付加価値化を図った。また、ハード面では（笠利町）土盛海岸や住用町マンガローパークなどの観光施設整備、ソフト面では奄美満喫ツアー活用による会議・大会・イベント誘致や観光×環境保全の取組、ユバール・ツーリズムの普及などによる新たな価値の創出を図った。



奥 晃郎
自民党新政会
総務企画委員

市長の政治姿勢について

その成果として、一人当りの観光消費額は市長就任時の令和3年度の6万5082円から、令和6年度には約10%増の7万3594円へと増加している。物産分野においては、「奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業」及び「加工品販路拡大支援事業」等を実施し、市内事業者の競争力強化と販路拡大に取り組んだ。続いて、情報分野においては、市内事業者のデジタル活用を推進するために、令和4年度から新たにデジタル導入関連の補助事業を実施し18の事業者に対して補助を実施した。

【その他の質問事項】
◎市長の政治姿勢について（職員提案制度 他）
◎公共事業の現状及び建設工事等入札制度について（随意契約、地元の建設業者育成、分散・分離発注 他）

令和8年6月

第 1 回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて (専決第2号 令和7年度奄美市一般会計補正予算(第7号)について)	承認	本会議
議案第1号	令和7年度奄美市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決	全委員会
議案第2号	令和7年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第3号	令和7年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第4号	令和7年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第5号	令和7年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第6号	令和7年度奄美市と畜場特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第7号	令和7年度奄美市交通災害共済特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	総務企画
議案第8号	令和7年度奄美市水道事業会計補正予算(第5号)について	原案可決	産業建設
議案第9号	令和7年度奄美市下水道事業会計補正予算(第4号)について	原案可決	産業建設
議案第10号	奄美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第11号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第12号	奄美市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第13号	奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第14号	奄美市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第15号	奄美市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第16号	奄美市観光公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第17号	奄美市笠利地区農林水産物加工施設条例を廃止する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第18号	奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第19号	奄美市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第20号	財産の取得について	原案可決	文教厚生
議案第21号	令和8年度奄美市一般会計予算について	原案可決	一般会計
議案第22号	令和8年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第23号	令和8年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第24号	令和8年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第25号	令和8年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第26号	令和8年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第27号	令和8年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第28号	令和8年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第29号	令和8年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第30号	令和8年度奄美市下水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第31号	奄美市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第32号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第33号	奄美市認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第34号	奄美市はき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第35号	奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第36号	奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第37号	奄美市地方卸売市場の設置及び業務条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第38号	奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第39号	奄美市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第40号	奄美市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第41号	奄美市立奄美博物館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第42号	奄美市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第43号	奄美市宇宙貝塚史跡公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第44号	奄美市公共施設の使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	一般会計

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第 45 号	奄美市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第 46 号	奄美市条例の読点の表記を改める条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第 47 号	奄美市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決	一般会計
議案第 48 号	奄美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 49 号	教育委員会委員の任命について	同意	本会議
議案第 50 号	副市長の選任について	同意	本会議

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名 (議席番号順)																〔○賛成数〕	〔●反対数〕							
	朝木一仁	西忠男	帯屋誠二	瀧真一郎	正野卓矢	弓削洋平	幸多拓磨	大庭梨香	叶幸治	盛剛	前田要	泉義昭	永田清裕	崎田信正	奥輝人	多田義一			栄ヤスエ	与勝広	奥晃郎	伊東隆吉	竹山耕平	川口幸義	
議案第22号 令和8年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について 議案第35号 奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	20	1
議案第24号 令和8年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	20	1
議案第25号 令和8年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	20	1
議案第29号 令和8年度奄美市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	20	1

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。(○は賛成・●は反対)
 ※多田義一議員は議長職のため、表決権はありません。

第1回定例会 常任委員会

【文教厚生】 2月13日
 【産業建設】 2月16日
 【総務企画】 2月17日

左記の日程で議案について
 審査しました。
 委員会の審査について一部
 ご紹介します。

文教厚生委員会

令和7年度奄美市一般会計補正
 予算(第8号)

問 合併浄化槽に関する補助件数及び補助額について

答 補助件数は、令和4年度が31件、5年度が25件、令和6年度が27件となっている。補助額は浄化槽の大きさや浄化槽に転換する前の状況等で変わってくるが、一番多い内容は汲み取り便槽からの転換で、1件あたり73万2000円となっている。

問 離島留学の近年の状況と期待する成果について

答 令和5年度から7年度までの3年間は受け入れ実績はない。8年度に関しては里親2人が予定されており、また新たに親子型留学1人を予定している。第2のふるさとを思う子ども達を育てていくとともに、集落の活性化や地域の発展、学校の存続に努めていきたい。

産業建設委員会

令和7年度奄美市水道事業会計
 補正予算(第5号)

問 衛星画像のAIの解析による漏水調査業務委託について

答 国土交通省が公表している上下水道DX技術カタログに記載されており、衛星からマイクロ波を照射し、地下に浸透した水道水の反射データをAIを使用して解析するAIで、

総務企画委員会

令和7年度奄美市一般会計補正
 予算(第8号)

問 財産管理費における各積立金の残高と積立目的について

答 積立後の残高は、財政調整基金が41億1996万7000円、公共施設整備事業基金が41億3339万6000円、減債基金が31億7386万4000円、地域振興基金が33億102万1000円。

それぞれの積立の目的は、財政調整基金が地方財政法の定めに基づく決算剰余金の半額を積み立てるもの、公共施設整備事業基金が、残土処分場の収入や土地売却収入からの積立と財政調整基金からの積み替えにより、子育て保健福祉複合施設整備や公営住宅、教育施設の更新、クリーンセンターの改築など大型事業に係る備えとして積み立てるもの、減債基金は臨時財政対策債と認定子ども園の今後の償還財源として積み立てるもの、地域振興基金は今後の地方創生事業などに備えて積み立てるものなど。

令和8年度 予算等審査特別委員会

【一般会計】3月12日・13日・16日・17日 【特別会計】3月12日・13日
上記の日程で議案について審査しました。事業や議案について一部ご紹介します。

一般会計

344億104万7,000円（前年度比1.7%減）

予算案及び条例改正等の議案16件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

ペーパーレス会議システム 導入事業

882万4,000円

議会のデジタル化に取り組むため、新たにペーパーレス会議システムを導入する。

住用地区学校統合準備委員会 設置事業

97万6,000円

住用町内小学校及び中学校の統合を円滑に推進するため、統合に関する諸課題を協議する。

公共施設包括管理業務

2億4,005万2,000円

本市が保有する学校施設や教員住宅、市営住宅等の公共施設について、維持管理業務を一括して行う業務。

春日保育園整備事業補助金

1億3,331万5,000円

春日保育園が老朽化等に対応するために行う整備に対して補助金を交付することで、民間施設の安定的な運営環境を確保し、地域全体の保育の持続性を確保する。

健康体験交流施設 アドバイザー業務

2,500万円

奄美市健康体験交流施設の再整備活用事業に参入する事業者を公募・選定するための準備や助言、法務整理等を行う。

公営住宅整備事業費 (赤木名地区)

2,702万5,000円

赤木名住宅（外金久C、D、E、中金久C）について、PFIによる集約建替えを実施する。

ハザードマップ作成更新業務

1,778万7,000円

令和2年度に全戸配布されたハザードマップの更新及び再配布を実施する。

学校給食費無償化

1億2,034万8,000円

小・中学校の給食費無償化を実施し、子育て世代の経済的負担軽減を図る。

住用地区おむつ代助成事業

60万円

住用地区に居住する3歳未満のこどもの保護者に対し、おむつ代を助成する。

特別会計

予算案及び条例改正等の議案11件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

国民健康保険事業特別会計予算 54億5,862万7千円

国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
3億3,139万5千円

後期高齢者医療特別会計予算 7億6,128万円

介護保険事業特別会計予算 53億9,221万1千円

訪問看護特別会計予算 3,399万円

と畜場特別会計予算 3,943万8千円

交通災害共済特別会計予算 450万9千円

奄美市水道事業会計予算 *28億1,980万1千円

奄美市下水道事業会計予算 *31億6,817万円
(*収益的支出と資本的支出の合計額)

国民健康保険事業特別会計予算について

問 現年分と滞納繰越分の収納率は何パーセントを想定しているのか

答 令和8年度予算の収納率は、現年度分を95.67パーセント、滞納繰越分を26パーセントとして組んでいる。

国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について

問 住用診療所の今後の運営について

答 開設者は施設そのものの責任を負う奄美市長となり、所長は管理責任者となる。所長に施設の運営を任せることにはなるが、あくまでも公営であり、協議によって一緒に運営を行っているという考えである。

奄美市交通災害共済特別会計予算について

問 基金残高について

答 令和8年3月見込みで4,570万円程度となっている。

奄美市水道事業会計予算について

問 PFASの水質検査業務委託料について

答 令和8年度より水道法にて義務化された。本市の水道事業はPFASを検出する体制が整備されていないため、専門機関に検査を委託する予定。名瀬管内で16か所、住用管内で5か所、笠利管内で10か所の浄水を対象に、3か月に1回の頻度で実施する予定。

奄美市議会報告会

奄美市議会では、開かれた議会を目指して市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、ご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。

令和7年度の議会報告会は、2月6日に市内3か所で開催いたしました。皆さまからの貴重なご意見は市当局へしっかりお伝えするとともに、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

いただいたご意見やご要望を一部ご紹介します

- シニア層が二拠点居住やI・Uターンを希望していても住まいの確保が難しい。
- 教職員住宅の老朽化が著しい。他に空き家もないため早く対応して欲しい。
- 人口減少と学校統廃合について
- 世界自然遺産を活かし、住用地区に直接経済効果が及ぶような政策を打ち出してほしい。
- 笠利地区の歴史的資産の保存と活用について
- ホテル建設に関して地元住民と情報共有してほしい。

アンケートより

- 質疑応答の時間をもっと長くしてほしい。
- 様々な意見が聞けて有意義な報告会と感じた。
- せっかくの機会なのに参加者が少ない。もっと報告会のことを発信してほしい。
- 資料が難しい。事前に公開するなどしてほしい。



参加者数13人

▲ 名瀬会場【アマホーム PLAZA】

(担当議員)

西 忠男、幸多 拓磨、盛 剛、泉 義昭、永田 清裕、奥 輝人、川口 幸義



参加者数6人

▲ 住用会場【住用公民館】

(担当議員)

正野 卓矢、大庭 梨香、叶 幸治、崎田 信正、多田 義一、伊東 隆吉、竹山 耕平



参加者数22人

▲ 笠利会場【笠利総合支所】

(担当議員)

朝木 一仁、帯屋 誠二、瀧 真一郎、前田 要、柴 ヤスエ、与 勝広、奥 晃郎

議員定数・報酬等特別委員会 中間報告書提出

議員定数・報酬等特別委員会では、これまでの議論の結果を取りまとめた中間報告書を令和8年3月26日に安田市長へ提出し、あわせて「特別職報酬等審議会」の開催を要望いたしました。市民アンケートやパブリックコメントにご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

「議員定数・報酬等の在り方(案)」と中間報告書の内容を、奄美市のホームページで公開しています。以下の二次元バーコードからもご覧いただけます。



政策立案推進会議最終提言提出

奄美市議会政策立案推進会議では、令和7年度のテーマを「災害に強いシマづくり」と定めて調査研究を行いました。

取りまとめた政策提言書は、奄美市議会の総意として令和8年3月26日に安田市長へ提出いたしました。

ヒアリング等にご協力いただいた皆さまへ心より感謝申し上げます。



▼提言書はこちら
(奄美市のホームページで公開しています)



議会の動き

【2月】

- 2日 政策立案推進会議
- 3日 政策立案推進会議、議会だより編集委員会
- 5日 議員定数・報酬等
- 6日 議会運営委員会、議会報告会
- 12日 第1回定例会開会、全員協議会、
会派代表者会、委員長・副委員長定例会、
議会運営委員会、
議員定数・報酬等特別委員会
- 13日 文教厚生委員会
- 15日 奄美市美術展覧会表彰式
- 16日 産業建設委員会
- 17日 総務企画委員会
- 18日 本会議、全員協議会、政策立案推進会議、
議員定数・報酬等特別委員会
- 25日 奄美群島市町村議会議長会
- 26日 政策立案推進会議

【3月】

- 3日 一般質問（～6日）
- 8日 関西奄美会総会・芸能大会
- 10日 本会議、全員協議会、議会運営委員会、
議員定数・報酬等特別委員会
- 12日 予算特別委員会（13・16・17日）
- 19日 すみようこども園落成式
かさりこども園落成式
- 20日 奄美市市制施行20周年記念式典・祝賀会
- 26日 最終本会議、全員協議会、
議員定数・報酬等特別委員会中間提言、
政策立案推進会議最終提言

【4月】

- 1日 奄美市合同入社式
- 10日 奄美市転入教職員合同着任式
- 11日 近畿笠利会交流会
- 15日 鹿児島県市議会議長会定期総会
- 16日 大島郡町村議会議長・事務局長合同会
- 22日 宇宿貝塚史跡公園リニューアルオープン
セレモニー
- 23日 九州市議会議長会定期総会
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 議会運営委員会、政策立案推進会議

第2回定例会の予定

令和8年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
	開会	一般質問				
21	22	23	24	25	26	27
	本会議	常任委員会				
28	29	30				

令和8年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		最終 本会議				

議会をご覧になりませんか

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。
議会の傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

「傍聴」

事前連絡は不要です。
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

編集あとながき

令和8年第一回定例会では、17名の議員が一般質問に立ち、市民生活や地域の課題について活発な議論が行われました。
世界に目を向けると、ロシアとウクライナの戦争はすでに4年半近く続き、さらに2月28日にはアメリカとイスラエルによるイランへの大規模な軍事行動が報じられ、イランからの報復が近辺のアメリカ軍の基地へ行われています。国際情勢は緊張感を増し、こわした不安定な世界情勢は、エネルギー価格や物流などを通じて、物価高騰により日本国民の生活に影響を及ぼす可能性があります。1日も早く戦争が終息し、平和な日常が戻ることを心から願います。
私たちが市議会は市民に最も近い立場として、皆さまの声に耳を傾けることが大切です。議員一人ひとりが緊張感と責任感を持ち、奄美市のさらなる発展と安心して暮らせる地域づくりのために全力で取り組んで参ります。今後とも市議会へのご理解とご協力をお願いいたします。

【西 忠男】

市議会だより

編集委員会

【委員長】

崎田 信正

【副委員長】

西 忠男

【委員】

朝木 一仁 新

帯屋 誠二

叶 幸治

盛 剛

伊東 隆吉

新たに朝木一仁議員が編集委員会のメンバーになりました。